

2022年3月22日

日本真空光学、「はやぶさ2」ミッション成功への貢献により JAXA から感謝状を授与

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）のグループ会社である日本真空光学株式会社（本社：東京、社長：和田賢憲、以下OCJ社）は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）より、「はやぶさ2」に部材を供給し、ミッションに貢献した企業として感謝状を授与されました。

OCJ社は、「はやぶさ2」に搭載された小型着陸機「MASCOT(Mobile Asteroid Surface Scout)」に使用された赤外線ディテクタ用光学ウインドウを供給しています。優れた熱耐久性や広帯域で低損失なAR^{*1}コート（反射防止膜）などの特徴を持ち、小惑星リュウグウの表面や鉱物を科学観測した赤外線ディテクタに使用されました。



JAXA より贈られた感謝状

AGCグループは、経営方針 **AGC plus 2.0**のもと、エレクトロニクス事業を戦略事業のひとつと位置付けています。今後も高い技術力と信頼性を有するエレクトロニクス事業を通じて、さらなる宇宙開発に貢献していきます。

以上

* 1 : Anti-Reflection の略

◎ 本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 小川 知香子

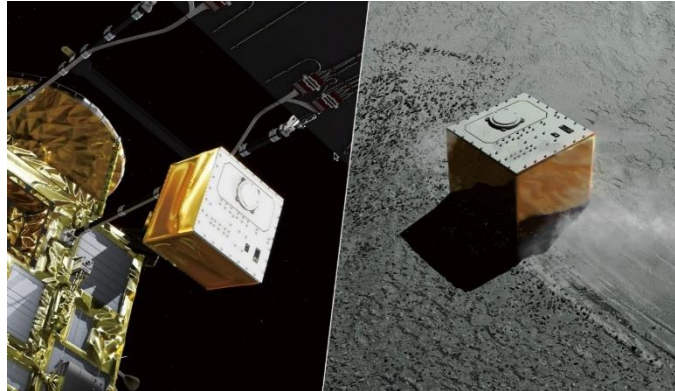
(担当：藤山 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

* 個人情報 は 当社 プライバシー ポリシー に 従って お取扱い を させていただきます。

<ご参考>

■ 赤外線ディテクタ用光学ウインドウについて

「はやぶさ 2」に搭載された「MASCOT」は、DLR（ドイツ航空宇宙センター）と CNES（フランス国立宇宙研究センター）によって開発された小型着陸機です。2018 年 10 月 3 日に「はやぶさ 2」より分離し、6 分間の自由落下で小惑星リュウグウに着地しました。大きさ 30 x 30 x 20cm(立方体)・重量 10 kg 程の「MASCOT」は自律してリュウグウ上を移動して、約 17 時間にわたり複数の場所で観測を行い、ミッションを終えました。



(左) 「はやぶさ 2」から分離する MASCOT のイラスト、(右) リュウグウに着地した MASCOT のイラスト (画像クレジット: JAXA)

「MASCOT」の底面には赤外分光顕微鏡「MicrOmega」が実装されており、0.9 μ m～3.5 μ m の赤外線で、表面の鉱物の種類や物性を調査しました。「MicrOmega」には LYNRED 社製(<https://lynred.com/>)の赤外線ディテクタが使用されており、この赤外線ディテクタに OCJ 社が製造した光学ウインドウが採用されました。

OCJ 社の光学ウインドウは、熱サイクルに対する優れた耐久性と、0.9 μ m～3.5 μ m までのブロードバンドにおいて反射率を抑制した AR コーティングによりリュウグウ表面の撮像に寄与しました。OCJ 社が製造する光学ウインドウは、任意の波長帯域で、優れた熱耐久性、高い光透過性、高耐光性などの特徴を有し、また側面を含む外周部はパッケージ封止用の金属膜化が可能で、宇宙・大気計測・セキュリティなど幅広い分野に使用されております。



OCJ 社が製造する赤外線ディテクタ用光学ウインドウ

■ 日本真空光学株式会社について

[OCJ 日本真空光学 | ホーム](#)

◎ 本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR 部長 小川 知香子

(担当：藤山 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

*個人情報 は 当社 プライバシー ポリシー に 従って お取扱い を させていただきます。